

# 美濃 本菓の古刹めぐり

樽見鉄道からでも散策できます。

### 1 北野山専念寺

(宗派: 真宗誠照寺派)  
 創 享享8年(1436年) 寺号公称  
 場 本巢市根尾東板屋741-1  
 0581-38-2766 Pあり WCなし  
 ※本堂内の拝観はできません。  
 アクセス 樽見駅から2.1km

**由来**  
 享享8年(1436年)越前鯖江舟津にて寺号公称。天正11年(1583年)74騎を率いて柴田修理の為に羽柴勢と対戦、温見に逃れ再建。元禄初年大垣藩主戸田侯の位牌所と成る。嘉永7年類焼。明治4年本堂再建。(棟梁、松村三右門)明治24年濃尾震災に倒壊を免れた。

**天然記念物** 樹高20m、目通り2mの多羅葉樹が庫裏の裏庭にあり、市天然記念物に指定されている。

### 2 水鳥山臥龍院西光寺

(宗派: 浄土真宗本願寺派)  
 創 初代西光寺は文明6年(1474年)蓮実により創建される。現西光寺は慶長5年(1600年)7代目明順により現在地に創建された。  
 場 本巢市根尾水鳥212  
 0581-38-2016 Pあり WCあり  
 アクセス 水鳥駅から300m

**由来**  
 現本堂は、永平寺の伽藍建築で磨かれた志比大工の棟梁山口弁之助の手により完成された。また、本堂・山門の彫刻は、米原上丹生の木彫軍団の彫長川口巴之吉の手によるものである。現本堂は、慶長5年(1600年)明順時本願寺第十二世准如宗主より下附された佛である。鐘堂は1754年に創建されたが明治24年の濃尾大地震で建物は倒壊した。その後、明治34年に復興整備され、その当時のまに復元されている。

### 3 大谷山圓勝寺

(宗派: 浄土真宗本願寺派)  
 創 建仁元年(1201年)  
 場 本巢市金原350 0581-32-5412  
 Pあり WCあり 時 午前9時～午後5時  
 アクセス 鍋原駅から2.2km

**由来**  
 開基は、河内の國橋姓の一族関谷六郎橘正善。美濃大野、本巢両郡の領主にて大野郡上秋の庄、数屋村に居住。上洛して法然上人に帰依して九条家の旧殿を賜うて、同家伝来の恵心僧部の新刻の阿弥陀仏を受け、帰国後数屋村に念仏弘通の拠点となる一宇を建立。ここを大谷山圓勝寺と号す。  
 第三代善徳の時、覚如上人より阿弥陀仏像を授けられ第九代善勝の時、石山合戦に参加し織田信長に追われ、根尾村長嶺三の段山中にて根尾右京乃介に打首にあい、正当に捨てられた。(坊主落し)その後、天正11年(1583年)に見延村一色、さらに元和2年(1616年)に当地金原に再転現在に在る。

**故事来歴**  
 当寺は覚如上人のご縁にて北陸からの「山越えの巽安心」に對した寺といわれている。  
 元治元年(1864年)水戸浪士武田耕齋一行300人宿泊いたし、幕府側中村半次郎(桐野利秋)と出会った場所と言われている。

**天然記念物** 敷地内に市天然記念物、樹高17m、目通り3.6m、樹齡約350年の「円勝寺の榎」がある。

### 4 金輪寺

(宗派: 臨濟宗妙心寺派)  
 創 寛永年間(1624～1643年)  
 場 本巢市神海604 0581-32-5433  
 Pあり WCあり アクセス 神海駅から500m

**由来**  
 本尊は觀世音菩薩。寛永年間、大円宝鑑國師愚堂和尚を開山とする。貞享2年(1685年)安山和尚により再興された。  
 鏡觀音は元禄年間(1688～703)この村の人が、大宇神海内野地内に発見したもので、径四寸の円鏡である。  
 鏡面に觀音菩薩の像が彫刻してあるので鏡觀音と呼んでいる。これは思うに懸仏である神社仏殿の随所に吊り下げたもので、鎌倉時代(1192～)より足利時代にかけて盛んに行われたもので、おそらくその遺品であろう。

### 5 清葉山祐國寺

(宗派: 浄土真宗本願寺派)  
 創 明応5年(1496年) 浄土真宗に改宗してから  
 場 本巢市山口412-1 0581-34-2210  
 Pあり WCあり  
 http://www.2gol.com/usors/yuukokuji/frame.html  
 アクセス 織部駅から400m

**由来**  
 当寺は、戦国期の武将であり茶人でもある古田織部の祖に当たる山口城主・古田総兵衛の菩提寺となっております。古田総兵衛は、家臣団の掌握のため、当時、勢力を持ち、家臣団の中に浸透していた浄土真宗を宗旨とする菩提寺を建立するため、家臣団の一人である教光を娘婿として迎え、天台宗の寺院で空き寺であった祐國院を整備して初代住職としたといわれています。

### 6 梅英寺

(宗派: 臨濟宗妙心寺派)  
 創 天文4年(1535年)  
 場 本巢市曾井中島663-1  
 0581-34-2153 Pあり WCなし  
 アクセス 本巢駅から250m

**由来**  
 寛永7年(1630年)大智淨聖石翁が当地へ掌宇を移築。本尊は釈迦牟尼仏。  
 將軍地蔵尊は日清、日露戦争の時の戦死者、東海地方3500余柱の遺骨、遺品等で鍊造した地蔵尊。

**天然記念物** 市天然記念物の「梅英寺の公孫樹」樹高16m、目通り2.8m、樹齡約255年。中国原産の落葉樹で、近年は街路樹として喜ばれている。一属一種で、中世代には非常に栄えた植物であったので、「生きている化石」といわれている。

### 7 文殊山善永寺

(宗派: 浄土真宗本願寺派)  
 創 至徳2年(1385年)  
 天台宗善永寺遺立  
 場 本巢市文殊1370  
 0581-34-2065 Pあり WCあり  
 アクセス 本巢駅から1.5km

**由来**  
 天正年間いたり方県郡彦坂村の住人で大桑城主土岐美濃守の一族土岐岐人という人、故ありて本巢文殊村の地に引移り本願寺第十一世顯如上人(光佐)に帰依して善明と称し天正8年(1580年)7月この寺を創立し善永寺と号す。  
**文化財**  
 市有形文化財「麒麟鐘(梵鐘)」元龜元年(1570年)9月、石山本願寺合戦の際、土岐頼芸の一族である土岐岐人は顯如のもとで軍師として活躍。和陸後、顯如は褒美としてこの戦いで使用した陣鉦「麒麟鐘」を藏人に授けたが、のち出家して善明と名乗り、善永寺を再興してこの「麒麟鐘」を置いた。現在の鐘は慶長10年(1605年)に梵鐘に作り直されたもの。

**天然記念物** 市天然記念物「善永寺のモチノキ」樹高8m、目通り2m、樹齡約220年。モチノキは庭園木として植えられ、赤い果実と緑葉が美しい。

### 8 正尊寺

(宗派: 浄土真宗本願寺派)  
 創 文明5年(1473年)  
 場 本巢市曾井中島1592  
 0581-34-2018 Pあり WCあり  
 www.shosonnji.or.jp/  
 アクセス 本巢駅から800m

**由来**  
 平安時代横蔵寺の末寺として創建されたが、室町時代、文明5年福井県の吉崎御坊から本願寺8代蓮如上人が遣わした了光坊によって浄土真宗へ改宗再建された。創建当時川西に寺基を構えていたが、享禄3年(1530年)の大洪水で流れ、国主土岐頼芸の寄進により現在の中島へ移り現在に至る。  
 洪水と織田信長の焼き討ちでほとんどの寺室は消失、蓮如上人筆六字名号、恵心僧部作阿弥陀如来像、紺紙金泥大般若経1巻などが現存している。  
 現在の本堂は天保時代に再建され、欄間は江戸末期名古屋を中心に活躍した「瀬川治助」の勇壮な彫刻である。

### 9 五台山大亀寺

(宗派: 曹洞宗)  
 創 享保9年(1724年) 寺号成就年  
 場 本巢市文殊1242  
 0581-34-2248 Pあり WCあり  
 アクセス 本巢駅から1.1km

**由来**  
 享禄元年(1528年)、池田郡白樺城主(長井左金吾長弘)により、この地に文殊院文殊堂を建て、文殊菩薩を安置。元禄年間、織田信長稲葉城(岐阜城)下発展のため、文殊菩薩を城下に移す。以後170年間にわたり堂の再建なく、地名のみが残る。村の由来を忘れんがために、玄洞文龜和尚(開基)は享保6年(1721年)文殊堂の再建を祈願し、この地に文殊菩薩が安置され現在に至る。

**故事来歴**  
 創建当時建てられた楼門は、法林寺中村の集落を覆い隠したと伝えられる1本の樺の木で建てられ、その三の枝から径2尺の本白が作られたとも伝えられている。

**文化財**  
 「文殊菩薩」  
**天然記念物** 市天然記念物「大亀寺の樺」樹高28m、目通り2.7m、樹齡約225年

### 10 大慈山智勝院

(宗派: 曹洞宗)  
 創 寛文元年(1661年)  
 場 本巢市郡府452  
 058-324-6205 Pあり WCあり  
 アクセス 糸貫駅から3km

**由来**  
 加納藩主戸田光重公が、祖母智勝院殿(松姫)＝徳川家康の妹の菩提を弔うために建てた寺である。智勝院殿は、徳川家康の生母於大の方が再婚後産んだ松姫で、のち家康の養妹となった人である。光重は、智勝院を建てると共に、寺領52石3斗3合の地を寄進し、戸田家代々の墓所とした。寺の本堂正面の屋根瓦には、菱紋と戸田家の家紋六つ星印が刻まれており、山腹には光重はじめ、その一族・家臣の墓が建ち並んでいる。本尊は聖観世音菩薩坐像で、智勝院殿が深く信仰されていたことによるものとされている。  
 当院は、船来山東山麓の小高い所に位置し、山頂からの眺めもよく、景勝地の一つとして遠足や来遊の人も少なくない。

### 11 浄妙山國恩寺

(宗派: 真言宗)  
 創 平安時代弘仁年間(810年～824年)  
 場 本巢市春近436-1  
 058-324-2337 Pなし WCあり  
 アクセス モレラ岐阜駅から3km

**天然記念物** 「國恩寺のヒラギ」は弘法大師がこの寺を訪れた時に持っていたヒラギの杖が芽を出して大きくなったものという言い伝えがあり、また、弘法大師お手植えの木であるとも言われている。老木であるため葉にほとんどトゲがなく、全緑のものが多い。県指定天然記念物です。

### 12 紫金山光明寺

(宗派: 真宗大谷派)  
 創 文明5年(1473年)  
 場 本巢市政田1445 058-324-1657  
 Pあり WCあり 時 午前9時～午後5時  
 アクセス 北方真桑駅から3.5km

**由来**  
 開創当時は池田郡溝口村(現在の揖斐郡揖斐川町歴永)にあって、天曜山光明寺とって数代の間天台宗に属していた。文明5年(1473年)住職教山の時、本願寺蓮如上人の教えを聞き、それに帰依して浄土真宗に転じ、現在は真宗大谷派に属する。  
 第7世円海の時、関ヶ原合戦の余波を受けて、西軍のため寺坊は灰燼に帰した。たまたま大野郡政田村(現在の本巢市政田)に大乘院と名づける庵寺があったので、そこに転移して堂宇を建立した。それが現在の光明寺である。

**文化財**  
 大正13年(1918年)に庵寺跡と思われる所から掘り出された「前卓」は、室町時代初期の作と推定される優れた工芸品で、市の有形文化財の指定を受けている。前卓は高さ42cm、奥行41.3cm、横幅93.9cmで、正面には精巧な蓮華の浮彫模様が刻まれており、脚の部分にもそれに照応するよう雲形の浮彫が見事である。前卓とは花瓶、香炉、蠟燭立、供物等を仏前に供えるために使用する仏具である。現本堂は明治43年に、鐘堂は平成19年に再建された。

### 13 高照山円長寺

(宗派: 浄土真宗本願寺派)  
 創 宝暦元年(1751年)  
 場 本巢市軽海640  
 058-324-2879 Pなし WCなし  
 ※本堂内の拝観はできません。  
 アクセス 北方真桑駅から2.8km

**由来**  
 このお寺には昔、軽海西城という戦国時代のお城があったと伝えられ、今も城を囲んでいた土塁と堀が残っています。この城はもともと、加留美長勝の館であったと言われますが、室町時代には土岐氏の城になったと伝えられます。美濃国諸旧記という古文書によると、土岐氏最後の代である土岐頼芸が家臣である西村勘九郎(美濃のママシと恐れられた後の斎藤道三)に与え、道三がこの城に住んだという記録があり、この城がとても重要であったことが伺えます。  
 天正17年(1589年)には、大垣から移ってきた戦国武将の柳直末が6万石をもらい、この城を自分のものにしました。柳氏は、後に天正18年(1590年)豊臣秀吉の北条氏征伐に従軍しますが、伊豆山中の砦で討ち死にします。後年柳氏の末裔が、菩提を弔うために城の一角に寺を建て、それが円長寺になったと伝えられます。400年以上たった現在の住職も柳氏の末裔です。

**文化財**  
 「軽海西城跡」は市指定史跡です。

### 14 谷波山華嚴寺

(宗派: 天台宗)  
 創 延暦17年(798年) 揖斐川町谷波徳積23 0585-55-2033  
 アクセス 谷波口駅から揖斐川町コミュニティバス8分、谷波山下徒歩10分

### 15 両界山横蔵寺

(宗派: 天台宗)  
 創 揖斐川町谷波神原1160 0585-55-2811  
 アクセス 谷波口駅から揖斐川町コミュニティバスで両界山にて乗換え終点横蔵寺下車すぐ。

### 16 法雲山来振寺

(宗派: 真言宗)  
 創 聖徳元年(715年) 揖斐郡大野町福富398  
 0585-32-0078 アクセス 本巢駅より約3.5km

### 17 池鏡山円鏡寺

(宗派: 高野山真言宗)  
 創 弘仁2年(811年) 本巢郡北方町北方1345-1  
 0585-323-0021 アクセス 北方真桑駅より徒歩約20分

本尊は十一面觀世音菩薩、西美濃三十三靈場第二札所。国宝絹本著色五大尊像をはじめ、十一面觀世音菩薩像、円空仏など貴重な文化財が多くあります。

本尊は聖観音菩薩、不動明王、弘法大師空海が創建したといわれる由緒ある寺。織田、豊臣、徳川家からもついで信仰が寄せられた。国の重要文化財の楼門や本尊の聖観音立像など貴重な文化財も多い。



## 本巢市近隣の古刹

- 谷波山華嚴寺 (宗派: 天台宗)  
 創 延暦17年(798年) 揖斐川町谷波徳積23 0585-55-2033  
 アクセス 谷波口駅から揖斐川町コミュニティバス8分、谷波山下徒歩10分
- 両界山横蔵寺 (宗派: 天台宗)  
 創 揖斐川町谷波神原1160 0585-55-2811  
 アクセス 谷波口駅から揖斐川町コミュニティバスで両界山にて乗換え終点横蔵寺下車すぐ。

本尊は十一面觀音、西国三十三箇所第三十三番札所、満願結願の寺院で桜、紅葉の名所としても知られ多くの観光客で賑わう。西国三十三箇所札所寺院では唯一、近畿地方以外にある。

本尊は薬師如来、西美濃三十三靈場第一番札所。国の重要文化財を含む多数の文化財を有し、「美濃の正倉院」とも呼ばれる。紅葉の名所でもあり秋の行業シーズンには多くの参拝客が訪れる。

本尊は十一面觀世音菩薩、西美濃三十三靈場第二札所。国宝絹本著色五大尊像をはじめ、十一面觀世音菩薩像、円空仏など貴重な文化財が多くあります。

本尊は聖観音菩薩、不動明王、弘法大師空海が創建したといわれる由緒ある寺。織田、豊臣、徳川家からもついで信仰が寄せられた。国の重要文化財の楼門や本尊の聖観音立像など貴重な文化財も多い。

